

厚生科学研究研究費補助金

エイズ対策研究事業

エイズに関する普及啓発における非政府組織（NGO）の
活用に関する研究

平成13年度 総括・分担研究報告書

主任研究者 池上千寿子

平成14（2002）年3月

目次

I. 総括研究報告書

青少年の性の健康を促進するための研究及び多様なセクターと連携した

「しかけ」の開発・実践 _____ 1

池上千寿子

(資料) 地方紙17紙に掲載された「やさしく図解ワールド：ほんとに知ってる？

エイズ・STD?」(大分合同新聞、宮崎日日)_____ 8

女子用コンドームパッケージ Popteen の雑誌広告 (著作権：角川春樹事務所) _____ 10

Popteen に同封された Sexual Health News (著作権：ぷれいす東京) _____ 11

女性用コンドーム普及啓発キットの案内 (著作権：大鵬薬品工業株式会社) _____ 12

II. 分担研究報告

1. 若者の保健行動に関する研究 _____ 13

徐 淑子

(資料) 女子用第2調査(アドヒアランス調査)質問紙 _____ 29

男子用コンドーム使用尺度項目収集のための調査紙 _____ 38

男子用コンドーム使用規定因研究のための質問紙 _____ 40

2. メディアにおける性とジェンダーの描写に関する研究 _____ 47

東 優子

(資料) ドラマ分析のためのコーディングシート _____ 52

III. 研究成果の刊行に関する一覧表 _____ 55

IV. 研究成果の刊行物 _____ 56

厚生科学研究補充金（エイズ対策研究事業）

総括研究報告書

エイズに関する普及啓発における非政府組織（NGO）の活用に関する研究

主任研究者 池上千寿子 特定非営利活動法人ぶれいす東京代表

研究要旨 青少年の保健行動の促進を目的とした3年計画の2年目として3つの研究を実施した。①青少年（18-25歳男女）の保健行動調査、具体的にはコンドーム使用規定要因の分析をした。その結果、女子においてはコンドーム使用自信感がコンドーム使用のアドヒアランス尺度として有効であり、使用態度については関係性因子に影響をうける女子がみられるが、関係性の質や量にはかかわらずコンドーム使用自信感の育成が肝要であることが示唆された。男子においては女子とはちがって関係性ではなく主体内要因を中心としたコンドーム使用態度尺度が得られ、男女の保健行動促進のためのニーズは同じではないことが明らかになった。ジェンダーやセクシュアリティによるニーズのちがいを反映したプログラムが求められることが示唆された。②マスメディアとくに若者と恋愛がテーマのテレビドラマに描写された若者の性及び性の健康管理行動（保健行動：避妊や予防）を過去5年間の高視聴率ドラマを対象に分析調査をした。その結果、現代の社会心理や態度、願望などを反映するとともに人々の生き方や行動になんらかのモデルあるいは判断基準として作用する可能性のあるドラマにおいて、具体的な保健行動はほとんど描写されないばかりでなく、女子にコンドーム使用自信感を提供するような描写は皆無にひとしく、女子の保健行動を阻害するジェンダーバイアスが温存されていることが明らかとなった。このことから、このようなメディアメッセージをのりこえるような映像モデル教材を開発する必要性が示唆された。③青少年のコンドーム使用の促進は、HIVやSTD感染の減少や望まない妊娠の減少に直接関係することは明らかである。そこでSEXUAL HEALTHをキーワードに多様なセクターと連携したいくつかの「しかけ」を開発し、展開した。女性用コンドームの販売促進ツール、若い女性をターゲットにしたコンドームパッケージの開発等、複数の企業の活動に連携し、新聞紙面での特別企画等を実践した結果、避妊も含めた性の健康について具体的かつ肯定的でビジュアルなメッセージを提供することへの青少年のニーズが明らかとなった。同時に社会全体ではとくに女性の性的自立、自己管理への心理的・文化的抵抗感もあることがわかった。つまり、社会全体には青少年の保健行動を阻害するようなメッセージがかなり存在する。この克服のためには斬新かつ肯定的なコンドームのイメージチェンジを演出することやあらたな映像モデルの開発が必要であることが示唆された。

分担研究者

徐淑子 日本保健医療行動科学会
奨励研究員
東優子 ノートルダム清心女子大学
助教授

のエイズ予防対策上、高い優先度がおかれている。同時に、とくに近年、HIV感染だけでなくクラミジア感染など複数の性感染症の青少年への蔓延、青少年の性行動の活発化が報告され、このことは従来のエイズ予防教育および普及啓発の手法やメッセージの有効性が

A. 研究目的

青少年は個別施策層のひとつとして我が国

深刻に問われていると解釈できる。少なくとも、医学的知識（正しい知識）の提供だけでは、青少年の行動変容をおこす力にはなっていないといえよう。では、どのようなアプローチが有効なのだろうか。そこで本研究は、①青少年の保健行動（避妊、予防）の背景要因（態度など）をさぐることをとおして有効な予防介入を検討し、その要因にてらして②既存の啓発資材やメディアによるメッセージ

を分析し、その有効性を検討し、③青少年の予防対策に有効といわれている国際的知見をふまえて、より効果的かつ具体的な予防啓発モデルあるいは青少年への有効な「しかけ」を提案し、実施し、④行政の施策および青少年の性的健康の向上に貢献することを目的とする。以上を CDC によるヘルスコミュニケーションの 10 ステップに当てはめると以下のようになる。

CDC ヘルスコミュニケーション 10 ステップにあてはめた研究概要

10 ステップ	2000	2001	2002 (計画)
Background information	文献調査		
Communication objects	若者の保健行動の促進		
Analyze target audiences	女子コンドーム使用 態度分析	女子アドヒアランス調査 男子コンドーム使用態度分 析	性別、性的指向、 タイプ別分析
Identify message concepts	Sexual Health 関係性依存要因の克服	Sexual Health コンドーム使用動機の継続 コンドームに「慣れる」	Sexual Health 保健行動は「かっ こいい」メッセー ジ
Communication channel	パンフレット分析 (知識)	高視聴率若者ドラマ分析 (意識、態度、関係)	学校あるいは地域 用の映像教材
Create message & material	Sexual Health Book	Sexual Health News Sexual Health WebSite	映像教材モデル開 発
Develop promotion plan		しかけの開発	しかけの展開
Implement communication strategies		しかけの実施	ネットの連携
Assess effects			評価基準の検討
Feedback			

B. 研究方法

上記を目的とする 3 年計画の第 2 年度である本年度は、3 つの課題で研究した。第 1 は、昨年度の保健行動研究 (18-25 歳) の継続で、女子についてはコンドーム使用アドヒアランス評価尺度を構成し、パートナーとの関係性

他の測定変数を分析した。男子についてはコンドーム使用阻害要因の定性的検討及び尺度項目を収集し、それにもとづく質問紙を作成した。現在集票中である。第 2 は、テレビドラマに描写されるジェンダーとセクシュアリティに関する研究で、過去 5 年間に高視聴率

を獲得した「若者」「恋愛」「性」をテーマにしたテレビドラマ11本を抽出し、登場人物の具体的な性行動と関係性や主体性、場面の背景的要因、性行動の結果の展開等を柱とするコーディングシートを作成し、同一ドラマにつき複数の調査者が記入した結果を分析した。第3は、昨年度からの研究で明らかになった女子のコンドーム使用阻害要因を克服するようなさまざまな「しかけ」を多様なセクサーと連携して開発し、実施した。この「し

NGOと企業、行政、若者組織等との連携による取り組み

かけ」の目的はコンドームプロモーションであるが、マーケティング理論にもとづく4P (Product,Promotion,Price,Place、製品、販促、価格、場所) という視点から表にまとめておく。

マーケティング理論における重要な4つのP (Andreasen,1995; Kotler & Andreasen,1991; Kotler & Roberto, 1989, Manoff, 1985; Novelli, 1990)

	女子の買いやすいパッケージ	女性用コンドーム	CONDOMing 若者むけキャンペーン
Product	新規開発 (2001) Popteen	マイフェミイ	Sexual Health Book
Promotion	雑誌「poptenn」と製造企業の ライセンス契約連携 ポップちゃん 油とり紙サイズ レインボーパック 星座占い	製造企業と連携 無料サンプルセット (サンプル、説明書、 Sexual Health Book) 15 万部	メディアと連携 (共同企画) 行政(保健所)と連携 若者組織と連携 企業と連携
Price	3個350円、6個500円	3個800円	無料
Place	コンビニチェーン ドラッグストアチェーン 全国4,000軒 (現在10,000軒)	商品は薬局で販売 無料サンプルセットは 申込者に提供	地方紙17紙 Anniversary2001 (六本木クラブ) 成人式、 コンドマニア
しかけ	Sexual Health Newsの同封 Sexual Health WebSiteの運営	無料 図解説明書の同封	やさしく図解ワールド 若者によるエイズ非関 連企画と連携

(倫理面への配慮)

保健行動調査では個人の性行動及び生活スタイルを質問している。無記名自記式回答であるが、調査時には研究者が目的と手法を説明しプライバシーの保護を確認したうえで、自発的な参加を募っている。フォーカスグループ討論は録音するが、発言は匿名性を守り発言についての守秘義務の徹底を参加者で確

認しあい、かつ発言を引用する場合は本人の了解をえてから行う。

C. 研究結果

(1) 女子 (n=340、性交経験立58.2%) の調査では性交経験者において過去のコンドーム使用頻度と、相手との関係性の質や自己価値観との間に関連性が少ないことが推察され

た。またコンドーム使用の自信感を測定する尺度を構成したがこれは、コンドーム使用状況と有意に関係しておりコンドーム使用のアドヒアランス尺度として有効であった。男子については女子とはちがうコンドーム使用態度尺度項目がえられた。

(2) 11本のドラマの性に関する描写の出現頻度を分析すると、セックスについての話題や行為は身体接触、キス、挿入までふくめて60%になるが、「避妊・コンドーム」は2%、「HIV/STD」は1%ときわめて低く、性風俗(4%)、性犯罪(5%)より下回っていた。セリフや役名のある登場人物(女性57,男性52)の行動分析では、性的行為はおもに男性主導で行われていた。

(3) Sexual Health をキーワードとした多様な「しかけ」の開発と展開

★女子むけコンドームパッケージ Popteen との連携：ジャパンメディカル社と角川春樹事務所はライセンス契約により、女子中学高校生40万の読者を持つ雑誌「Popteen」のキャラクター Pop ちゃんを使ったオリジナルコンドーム Popteen を開発した。油取り紙サイズ、レインボーカラーの新製品である。この新製品に当該研究班で作成した Sexual Health News を同封し、同時に Sexual Health Website を開設し広報した。Sexual Health News はエッチゲームとQ&Aの構成でNo.1-3まで更新した。発売はコンビニ、ドラッグチェーン等全国4,000店舗から開始したが、若い女性の間で好評をくらし若い女子に的を絞った製品開発とビジュアルな情報提供、相談窓口情報の提供へのニーズが高いことが確認された。

この結果、大手コンビニチェーンの参入も決定され販売店舗が1万店舗をこえた。パッケージにあわせて Sexual Health News も季節毎にデザインや内容を改訂している。中学生や高校生との避妊や予防の相談がネットをとおしてスタートしている。

★ 地方新聞に配信する特別企画のための通信社との連携：共同通信社と共同で特別企画「やさしく図解ワールド」で「ホントに知ってる？エイズ STD：あなたの行動チェックすごろく」を作成し、国連エイズ特別総会にあわせたタイミングで全国22紙に配信した。結果17紙が掲載した(宮崎日日、下野新聞、秋田さきがけ、デーリー東北、千葉日報、大分合同新聞、熊本日日新聞、長崎新聞、佐賀新聞、山陽新聞、四国新聞、京都新聞、岐阜新聞、北日本新聞、岩手新聞、信濃毎日、山形新聞)。掲載率は高かった。コンドームという言葉は掲載に問題はなかったが、オーラルセックス、ゲイなどの表現では企画段階で慎重な検討が必要であった。性についての図解、すごろく(ゲーム)による紙面作りは受容された。

★ 女性用コンドーム「マイフェミイ」の販売促進のための連携：発売後2年ちかく経過する女性用コンドームだが、製造企業調査によると認知度は35%(男性30%,女性38%)、使用の意向は60%にとどまっている。そこで当該研究班が開発した Sexual Health Book を同封した女性用コンドームの無料サンプルキットを企業が作成した。助産婦や保健婦、擁護教員などからのサンプル注文が相次ぎ、またたくまに15万部の準備が必要になった。

しかし女性用コンドームのサイズ、外見、使用中のノイズ、価格などについての否定的意見も寄せられている。否定的イメージについては肯定的に転化するイメージキャンペーンの必要性が示唆される。また、女性が自分で膣に挿入するという行為自体への抵抗感も存在する。この社会的価値観は女子の保健行動を阻害する要因である。

若者の自主的組織イベントとの連携：大学生による地域の成人式実行委員会、大学新入生のための大学生による全国イベント ANNIVERSARY 委員会等と連携し Sexual Health Book を配布した（約2万部）。Sexual Health というキーワードが「エイズ」ではつながりにくい若者集団との連携を可能にした。避妊を含めたトータルな性の健康についての具体的、肯定的かつビジュアルな情報へのニーズがここでも確認された。

D. 考察

(1) 保健行動調査：女子および男子の調査から、女子は関係性や環境（女子の主体的保健行動を受容しない男子や社会の態度）要因、男子は主体的内因が阻害要因になることがあきらかになった。また、性の健康については性関係にあるふたりの関係の質や量と関係するのではなく、予防的保健行動とその結果の因果関係が曖昧なために、保健行動を継続する動機づけが困難であることが考察される。これら阻害要因の克服には、①「女子の性行動が感染を広げる」等、女子の性行動への批判的言説を解消し、主体的行動促進の環境づくり、②男子の主体的内因を克服するコ

ンドームのイメージ変化キャンペーン、及び③性行動の開始から「コンドームに慣れる」条件づけ教育やメッセージの工夫が必要であることが示唆される。(2) ドラマ分析：11本のドラマに共通な傾向として3点あげられる。第1に、性的行為は男性主導型であり、しかも相互同意は不明瞭なままである。行為に対して明確な意思表示や確認作業はみられない。コミュニケーションというより「思いは態度で示せ」がむしろ奨励されている。第2に、性においても積極的な女性が登場するがじつは主体的ではない。飲酒の果て、自暴自棄、捨て身的な文脈で描かれる。これは、保健行動などとらないことが前提になっているとさえ考えられる。第3に恋愛至上主義が濃厚である。愛の前には命もいらぬ「命がけの恋愛」が描写される。このような展開では保健行動はでるまくがない、とさえいえよう。いいかえれば若者は保健行動を阻害させるメッセージをメディアをとおしてふんだんに浴びていることになる。

(3) 多様な「しかけ」の開発：多様なセクターとの連携をとおして、青少年、とくに女性は自分の性を肯定的にとらえ、性の健康についてきめこまかな情報を求めていることがわかった。Popteen 誌上では若い女性の性を肯定的にとらえ、ファッショナブルなキャラクター商品のひとつとして Popteen コンドームを宣伝している。このアプローチは対象のニーズにみごとにあわせて、若者の保健行動能力をひきだす可能性をひめた典型的な例であると考えられる。女性の積極的な性の健康管理を阻害しているのは、女性たちのモラ

ルの欠如や、性行動の活発化ではなくむしろ、女性の性行動を男性とは別の価値基準でとらえ性的従属のみをよしとするようなジェンダーバイアスである。女性用コンドームといった新製品を導入するときの心理的、文化的抵抗感 は女性の性に対するバイアスと関係しているよう。

E. 結論

2年間の研究から、個人の行動だけに焦点をあてて行動変容を促すことの限界があきらかである。性感染が「だれにでもありうる」という「正しい知識」だけの提供も行動には結びつかない。保健行動の促進を支援するような社会環境、社会的態度・規範を積極的につくっていくことが若者の保健行動の促進には不可欠であろう。そのためにもコンドームのイメージ転換が必要である。コンドームの使用は病気の予防というのではなく、自分の性、からだと上手につきあう健康管理、歯磨きや手洗いと同じレベルの習慣行動にしていく必要がある。このために若者のコミュニケーションツールであるネットを駆使したキャンペーンが有効であろう。また現在メディアをとおして若者がさらされている情報の偏りは性行動と保健行動のギャップを固定化している。コンドームの使用こそ「かっこいい」というあらたな映像モデルの開発が必要であろう。コンドーム使用にむけたアプローチは、ジェンダーだけでなく性的指向という視点からも分析し、緻密なタイプ別アプローチを考察してゆきたい。

F. 健康危険情報

なし。

G. 研究発表

1. 論文発表

池上千寿子、エイズ教育推進のためのあらたな“しかけ”、現代性教育研究月報、2001, No.11, 6-9

池上千寿子、性を語る、「エイズを知る」、角川新書、2001,10,41-56

池上千寿子、エイズに関する普及啓発における NGO の活用に関する研究、ふれいす東京活動報告書 2001, 32-36

ホントに知ってる? エイズSTD

徐淑子、データを読む—大学生世代の性行動とコンドーム使用、季刊セクシュアリティ、第5号、2002,93-103

徐淑子、若者の性意識と性行動の実態、避妊と感染症予防のためのスキルアップセミナーテキスト、2001, 16-21, 日本家族計画協会

東優子、性感染症、「性と看護—セクシュアリティ」、建社、143-145

2. 学会発表

C.IKEGAMI et.al, Determinant factors of young women's sexual health behavior, 15th World Congress of Sexology 2001, Paris 111

SUH.S&IKEGAMI,., Psycho-social factors influencing condom use among female college students in Japan, 4th International Conference of Human Behavioral Science, Kobe, August 24-26, 2001

HIGASHIY,et.al., Identifying HIV/AIDS Prevention Strategies for Young Japanese

Females, 6th International Congress on AIDS in
Asia and Pacific 2001, Melbourne

池上千寿子、青少年に対する予防対策—ジェ
ンダーを意識したアプローチ、エイズと人権
国際シンポジウム、2001,神戸

H. 知的財産権の出願・登録状況

なし。

オリジナル Popteen コンドーム

●ショップ店員21歳
小笠原杏子ちゃん

これ、大切なことだヨ!!



スリムな携帯ケースは
名刺入れにも使えるよ!!

★ラッキー開運お守りバージョンが入ってる!?
★いよいよNewバージョン発売開始!
★アンフィン先生の占いつき!

大好評発売中!!
2店で売ってるヨ!!

コンピニ
ココストア・タイムリー
ドラッグストア (五十音順)

サン・DRUG store (中部地区)・ジャスコ (全国)・クスリの清水 (愛知)
スギヤマ薬品・ドラッグスギヤマ (東海地区)・ドラッグてらしま (北関東地区)
ミドリ薬品 (九州)・ドラッグユタカ (岐阜・滋賀・京都・福井)

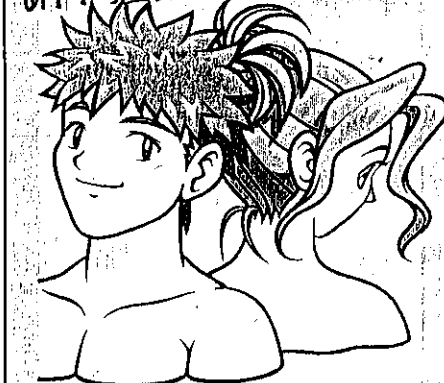
Popteen Guston にもあるよ~! Popteen は、
ティーンの性感染症撲滅に貢献できればと考えています。 ¥350 6コ入

M 発売元
ジャパンメディカル株式会社 〒263-0051 千葉県千葉市稲毛区園生町 893-18
http://www.japanmedical.co.jp

11111111111111111111
11111111111111111111
11111111111111111111

あちち温泉

全国の温泉へ旅しよう!!
あちちポイントが手に入る!!



* 女性無料 *

メールアドレス完全非公開!!
あちちポイントを貯めて旅行券
あちちグッズを当てちゃおう!!

ソフトバンクVコード 04262
<http://www.11yu.com/i/>
いい湯

あちち温泉アクセス方法
URL入力画面
<http://www.11yu.com/i/>
ガイドンスにしたがって新規登録
さあ温泉に出発しよう!!

株式会社ベック 関東東部 東京都中央区新富1-11-1
サービスは、1モードを利用したサービスです。
ダイヤル01、任意ダイヤルなどは異なります。
チケット料金、商品料金はサービス内に含まれていません。



すべて「まちがい」です。

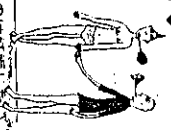
10点満点 **すごい!!**
コンドームを楽しく使おう。

9点満点
なかのページを読もう、
そしてコンドームをたたく使おう。

0点満点
いままでの知識は
なかのページを読もう、
忘れよう!
とにかくコンドームを使おう。



「ゴム使うのは遊びだからで、
ホジキで愛してあげればナマで
するもんだ」って彼がいろいろの
みんなそーなの?



「ゴムを使うのは遊びだからで、
ホジキで愛してあげればナマで
するもんだ」って彼がいろいろの
みんなそーなの? 「愛情」と「愛」も人それぞれ
だから「愛情」と「愛」も人それぞれ
違ってきちゃうからね。「愛しているからそ
れでいいよ」という男性が多い
わけだし、あなたはどちらのタイプの男性の方が
いいと思う? 「愛情」は避妊もしてくれない
病気の予防もしてくれない、これを忘れてはね。

「当たり前だけどコンドーム」



あなたの質問に
ちずこ先生が答えます!!

ホームページ
Sexual Health Web Site
<http://www2.gol.com/users/pctkyo/>
●ちずこ先生電話相談室
03-3361-8909
日曜日 13:00~17:00

「ちずこ先生」はHIV感染予防の第一人者として活動している、性
感染症専門医(NPI)認定です。若い人にSexual Healthの考え方を
普及させたいと活動しています。 E-mail: chuzuko@gol.com

※掲載料あり

「ラブセックスではゴムから
ゴム使ってもラフけど、彼女には
言いだしにくい。ムードがわすし、
でも中だししなればOKだよな」



「ちずこ先生、彼女を寝ているかきかいてほしい?」
というあるかもしないか。でもね、ちずこ先生
たちの調査(大学生)によると、女性は、彼ら
らコンドームを使おうとしていたけれど、彼
の印象は「よくねえ」がトピックで、それ
以外、「悪くない」っていった女性はゼロでしたよ。
つまり、「言った方がよかった」ってこと。そ
れに「中だし」しなくても、勃起したペニスから
出る透明のガソリンのなかにも精子がいたりする
から妊娠の可能性がある。OKではいいんだけれど、
から勃起したらすくつかける。ここからムードを
ちずこ先生、使おう、から始めよう!

「ちずこ先生、使おう、から始めよう!

Sexual Health NEWS

Vol.12

SEXUAL HEALTH NO.2

安心できるセックスと楽しむ
その方法が
ここにある。



- チェック
①はじめのセックスなら妊娠しない。...
②生理不順の人は妊娠しない。...
③月経の直後のセックスなら避妊は
必要ない。...
④愛していればセックスをするのは
当然だ。...
⑤愛の深いセックスばかりだと
セキキになる。...
⑥本番をしないフーリングならコンドーム
はいらない。...
⑦ひとりでセックスをしようとインポに
なってしまう。...
⑧相手をよく選べば感染の心配はない。...
⑨コンドームは1枚より2枚の方が無敵...
⑩精液をのんだだけではセキキには
ならない。

「愛しているならエッチしなれば
いけないの、エッチするの
は愛してないのにエッチするの
はいけないことなの、エッチするの
はかかんない?」



「愛しているならエッチしなれば
いけないの、エッチするの
は愛してないのにエッチするの
はいけないことなの、エッチするの
はかかんない?」
「ちずこ先生、彼女を寝ているかきかいてほしい?」
というあるかもしないか。でもね、ちずこ先生
たちの調査(大学生)によると、女性は、彼ら
らコンドームを使おうとしていたけれど、彼
の印象は「よくねえ」がトピックで、それ
以外、「悪くない」っていった女性はゼロでしたよ。
つまり、「言った方がよかった」ってこと。そ
れに「中だし」しなくても、勃起したペニスから
出る透明のガソリンのなかにも精子がいたりする
から妊娠の可能性がある。OKではいいんだけれど、
から勃起したらすくつかける。ここからムードを
ちずこ先生、使おう、から始めよう!

「ちずこ先生、使おう、から始めよう!

「エッチはナマでいいんですけど、
彼女超うまくてサイコー
精液のんだって妊娠しない、
これって超うまーくネー?」



「エッチはナマでいいんですけど、
彼女超うまくてサイコー
精液のんだって妊娠しない、
これって超うまーくネー?」
「ちずこ先生、彼女を寝ているかきかいてほしい?」
というあるかもしないか。でもね、ちずこ先生
たちの調査(大学生)によると、女性は、彼ら
らコンドームを使おうとしていたけれど、彼
の印象は「よくねえ」がトピックで、それ
以外、「悪くない」っていった女性はゼロでしたよ。
つまり、「言った方がよかった」ってこと。そ
れに「中だし」しなくても、勃起したペニスから
出る透明のガソリンのなかにも精子がいたりする
から妊娠の可能性がある。OKではいいんだけれど、
から勃起したらすくつかける。ここからムードを
ちずこ先生、使おう、から始めよう!

「ちずこ先生、使おう、から始めよう!

マイフェミー Myfemy

女性用コンドームは、女性が自らの意志で主体的に「望まない妊娠」や「性感染症」から身を守る方法としてイギリスで開発されました。女性用コンドームはバリア型の避妊用具で、膈内に装着して使用します。

材質のポリウレタンは、強度、安定性、熱伝導性に優れています。また、外陰部と膈内の双方を覆う構造により、精子の侵入を防ぎ、STDに感染する危険も減少させます。

女性用コンドーム



希望小売価格(税別)800円/1箱(3個人)
医療用具承認番号21100BZY00605000

輸入販売元



大鵬薬品工業株式会社
東京都千代田区神田錦町1-27
<http://www.taiho.co.jp/>

製造元 The Female Health Company(UK)

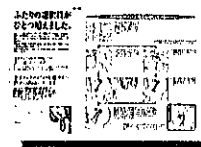
女性用コンドーム啓発資料のご案内(無料)

① マイフェミー VTH(12分)



女性用コンドームの装着方法や、日本における避妊の実態を解説しています。産後の避妊指導や性教育に。(12分)

② マイフェミー使用方法三折パンフレット



図解で、女性用コンドームの使い方を説明。開くとB5サイズに。

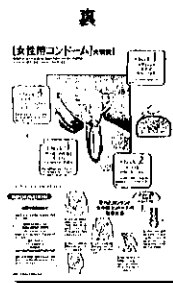
③ Contraception&STD(避妊情報小冊子)



ピル、IUDなど各種避妊法とSTD予防の基礎知識を掲載した16ページの小冊子。女性用コンドームの使い方も図解。

企画発行:(社)日本家族計画協会

④ 産後のバースコントロール



妊婦向け雑誌「プレママ」掲載記事。産後のセックスの疑問や避妊について、医師が答えています。B5サイズのリーフレット。

⑤ Let's CONDOMING



男性用、女性用各コンドームの使用法をイラストで解説。セーフセックスをテーマとした若者向け冊子。手帳サイズ。編集・発行:NPOふれいす東京

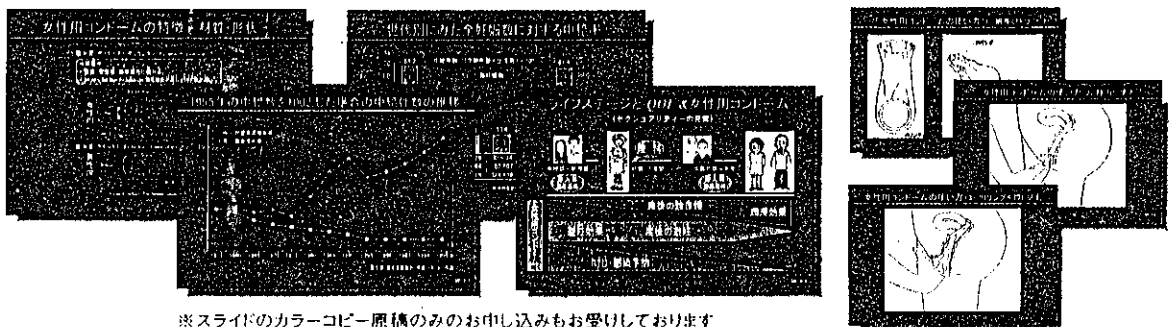
⑥ マイフェミー・インフォメーション

女性用コンドームについての商品概要と、日本での臨床試験結果並びにアメリカの主要文献、アメリカでのQ&Aを収録。専門家向けの冊子。B5サイズ。

⑦ マイフェミー商品サンプル

女性用コンドームサンプル1個人

⑧ 啓発用スライド(母体保護統計中絶データ、使用法イラストなど)



※スライドのカラーコピー原稿のみのお申し込みもお受けしております

厚生科学研究費補助金（エイズ対策研究事業）

エイズに関する普及啓発における非政府組織（NGO）の活用に関する研究

主任研究者 池上千寿子 ぷれいす東京

分担研究報告書

日本の若者の性と保健行動の研究

分担研究者 徐 淑子（日本保健行動医療科学会奨励研究員）

研究協力者：野坂祐子（お茶の水大学大学院）、兵藤智佳（早稲田大学アジア太平洋研究センター）、

白坂ゆき（ぷれいす東京）、村瀬幸浩（一橋大学）、生島嗣（ぷれいす東京）

研究要旨 本研究の目的は二つある。第1に、若年者女子におけるコンドーム使用行動を、パートナーとの関係性要因との関連において検討することである。対象は関東圏の短大・大学生女子とし、無記名自記式質問紙をもちいて授業時間を利用した集合調査を実施した（ $n=340$ 、平均年齢 19.02 ± 1.06 、性交経験率 58.2%）。その結果、性交経験者女子において、パートナーからの情緒的支援の認知、パートナー間の階層秩序性、自己価値感、独立＝依存行動特性は、過去のコンドーム使用頻度との間に、関連性が少ないことが推察された。一方、次回性交時にコンドーム使用を相手に依頼するかどうかについては、情緒的支援の認知および独立＝依存行動特性が影響する可能性が示唆された。第2は、若年男子におけるコンドーム使用態度尺度を収集し、コンドーム使用規定因の検討のための質問紙を開発することである。この結果、コンドーム使用態度尺度項目には女子との共通点と相違点があることがわかり男女別のアプローチの必要性が示唆された。

A. 目的

コンドーム使用行動は、若年者の典型的な「性の健康」リスクである望まない妊娠、性感染症の予防を目的として行われる保健行動である。コンドーム使用行動は「相手のある保健行動」のひとつであり、その実行可能性には、その時々との関係性がなんらかのかたちで影響を与えるものと考えられる。本研究では、以上のことを踏まえ、若年者女子におけるコンドーム使用行動を、主としてパートナーとの関係性要因との関連において検討し、若年者女子を対象とした健康教育の基礎資料を得ることを目的とする。男子においては、若年者男子のコンドーム使用行動の背景要因についての質的な情報を得ること、また、質問紙構成を行うためのコンドーム使用態度尺度を収集すること、得られた項目をもとにコンドーム使用規定要因を分

析するための質問紙を開発することを目的とする。

B. 方法

(1) 女子調査：無記名自記式質問紙法による。対象は、関東圏の短大・大学生女子とし、授業時間を利用した集合調査として実施した。調査票（資料）は、全部で 408 票回収した（回収率 88.4%）。その中から対象年齢外者の票を除外した、のこり 340 名分の回答を分析対象とした。分析対象となった 340 名の平均年齢は 19.02 ± 1.06 歳、性交経験のある人は、58.2%であった（表1）。本論では、中間報告として、性交経験者についての集計・解析結果を報告する。

なお、統計的検定を行う場合の有意水準は、 $p < 0.05$ とした。

(2) 男子調査：半構成的質問紙を用いた無記名自記式質問紙調査法および、フォーカス・グループ・ディスカッションの二つの方法を用いた。質問紙調査で用いた半構成的質問紙は自由記述設問のみによって構成されており、回答者に自由に意見・体験を記入してもらった(資料)。

フォーカス・グループ・ディスカッションは、1グループ10人以下の小グループで、半構成的質問紙と同じ内容について、約2時間にわたり討議してもらった。

調査協力者は機縁法で、また、エイズ教育講演の機会などを利用して募った。

調査実施期間は、2001年9月から同10月までとした。得られた回答は、発達心理学や保健行動科学を専攻する複数の調査員によって結果照合しながら、内容分析した。

C. 調査内容

(1) 女子調査：本研究における調査内容は、以下のとおりである。

- 1) コンドーム使用実践状況
 - ・ 過去3ヶ月のコンドーム使用頻度
 - ・ 過去1年間におけるコンドーム不使用経験の有無
 - ・ 次回性交時のコンドーム使用意思
 - ・ 次回性交時の使用依頼意思
 - ・ 次回性交時のコンドーム準備意思
- 2) コンドーム使用自信感(二つの下位尺度より構成される)
 - ・ セイファー・セックス・ポリシーの確実性
 - ・ パートナーへの依頼・説得
- 3) 性的ライフスタイル
 - ・ 過去1年間における、情緒的関係の発展に

基づかないパートナーとの性関係の有無

- 4) 特定パートナーとの関係性
 - ・ 情緒的支援
 - ・ 二者間の階層秩序性の有無
- 5) 自己概念・行動特性
 - ・ 自己価値感
 - ・ 独立=依存型行動特性
- 6) 性の健康に関する不安
- 7) 健康生活習慣の実践状況

(2) 男子調査：コンドームの使用についての意向、コンドームを使いそびれる理由、使いたくない理由等を収集した。

D. 結果

(1) 女子調査：

- 1) コンドーム使用状況(表2、表3)

過去におけるコンドーム使用状況の指標として、「過去3ヶ月のコンドーム使用頻度」「過去1年間におけるコンドーム不使用経験の有無(使うべき時に使えなかった経験の有無)」を尋ねた。

また、次の性交機会でのコンドーム使用意思について、「次にセックスをするとき、あなたはコンドームを使用すると思いますか(使用意思)」「次にセックスをするとき、あなたはコンドームを自分で用意すると思いますか(準備意思)」「次にセックスをするとき、相手がコンドームを使おうとしなかったら、あなたご自身から、使用を提案しますか(使用依頼意思)」の3つの質問項目で尋ねた。結果は、表2に記す通りである。最近3ヶ月以内にセックスをしたことのある人の内、毎回コンドームを使用していたのは、40.1%であった。また、「次にセックスをするとき、あなたはコンドームを使用すると思いますか」という問いに対し、「絶対に使用すると思う」「使用すると思

う」と答えた人は、両者合わせて34.5%であった。

2) 性的ライフスタイル (表4)

今回の調査では、性的ライフスタイルに関する調査項目として、過去1年間における、情緒的関係の発展に基づかないパートナーとの性関係の有無を調べた。

情緒的関係の発展を伴わないパートナーレーションを継続的であるか、偶発的であるかで分類し、前者を「特定の相手ではないが、一定期間、性的関係をもった人 (セックスフレンドなど)」、後者を「偶然セックスをした人 (ナンパ・合コンの相手、援助交際の相手など)」とした。

性交経験者のうち、最近1年間に「特定の相手 (恋人、カレシ、ステディ、本命君等)」がいた人は98.5%、「特定の相手ではないが、一定期間、性的関係をもった人 (セックスフレンドなど)」18.2%、「偶然セックスをした人 (ナンパ・合コンの相手、援助交際の相手など)」13.1%であった (複数回答)。

3) コンドーム使用自信感 (表5)

前年度池上班の研究結果をもとに、18項目の意見項目を選出し、コンドーム使用行動にかかわる実行自信感を測定する尺度の構成を試みた。その結果、コンドーム使用状況についての各質問項目との間にじゅうぶんな基準関連妥当性が得られた

4) パートナーとの関係性 (表6)

性的パートナーとの関係性の質を、情緒的満足感およびパートナー間の不均衡な勢力関係の有無という観点から捉えた。

前者については情緒的役割関係の葛藤尺度 (宗像他, 1987)、後者については家族間の階層秩序性尺度 (宗像他, 1987) をもとに、研究目的に合わせて文言を改変したものを、測定尺度とし

て用いた。尺度の信頼性および妥当性は、表6のとおりである。

5) 自己価値感および独立=依存行動特性

対人行動に影響を与えると考えられる個人内要因の中から、とくに、保健行動との生起とも関連があると考えられる自己価値感および独立=依存行動特性の二つについて、宗像の尺度を用いて測定した。それぞれの尺度の信頼性、妥当性は前出表6のとおりである。独立=依存行動特性尺度では、得点がより低いと独立行動の傾向が強くなり、より高いと依存行動の傾向が強くなる方向に得点化がなされている。

6) パートナー関係の質とコンドーム使用行動との関連性 (表7~表10)

コンドーム使用自信感の二つの下位尺度、情緒的支援、パートナー間階層秩序性の有無、自己価値感、独立=依存行動特性の得点の、それぞれ得点の高い方から30%を上位群、低い方の30%を下位群とし、群間でコンドーム使用実践に違いがあるかを比較検討した。コンドーム使用実践については、前出の6つの質問項目の回答選択肢に1点から5ないし6点を振り当て、得点化した。また、コンドーム使用自信感尺度の下位尺度 (「セイファー・セックス・ポリシーの確実性」「パートナーへの依頼・説得」) の平均得点も群別に比較した。

t検定の結果、情緒的支援では次回性交時のコンドーム準備意思、コンドーム使用依頼・提案、パートナーへの依頼・説得の各項目で、上位群と下位群との間に統計的な有意がみられた。いずれにおいても、情緒的支援尺度の下位群での平均点が、低かった。

階層秩序性尺度の上位群-下位群比較では、統計的有意のある項目はなかったが、パートナーへ

の依頼・説得尺度得点で有意傾向 ($p < 0.1$) がみとめられた。

自己価値感の上位群—下位群比較では、いずれの項目においても統計的有意はみとめられなかった。

独立=依存行動特性では、次回性交時コンドーム使用提案のみが有意であった。

(2) 男子調査：

24 名 (平均年齢 20.0 歳) の調査協力者 (男子表 1) から得られた回答を内容分析した結果、男子表 2 に記すよう、「使用」「装着行動」「携帯」「購入」「相手予測」「楽観」「深刻さ」など、16 カテゴリーが抽出された。

抽出されたカテゴリーの内容から、46 の質問項目を起こした (男子表 3)。

また、昨年度実施した、女子を対象としたコンドーム使用にかんする背景要因についての質的調査の結果 (男子表 4) と、今回の男子を対象とした調査の結果をつき合わせた。

その結果、「女性がコンドームを持っていると、女性の過去の経験を想像してしまい、憂鬱になる」「女性がコンドームを持っていると、その人への関心が下がる」など、女性がコンドームを携帯することについての記述・言及がみられた (「コンドーム・イメージ」)。

一方、「女性の体のしくみを知っていることは、大切だと思う」「コンドームのパッケージを見たり、説明文を読むのは、楽しい」「良質なコンドームを買いたいと思う」など、性の健康についての関心を表すと思われる記述・言及がみられ、これらを「性の健康についての関心」のカテゴリーとした。

また、「性教育を受けたことが、コンドームを使用することに影響している」「コンドームについ

て、性教育で学んだ」も、男子のみに見られる記述・言及であった (「教育」)。

E. 考察

女子においては「相手のある保健行動」という観点から、パートナーとの関係性、自己価値感、行動特性の要因とコンドーム使用実践との関連性を検討した。

その結果、パートナーとの関係性では、情緒的支援は、過去のコンドーム使用状況というより、次回性交時のコンドーム使用意思の強さと関連をもっていた。パートナー間の階層秩序性は、コンドーム使用実践に影響を与えていなかった。自己価値感も同様であった。独立=依存行動特性は、次回性交時のコンドーム使用の提案との関連性が示唆されるのみであった。

総じて、今回測定したパートナーとの関係性の認知や、その他の個人内要因は、次回性交時のコンドーム使用にかんする意思とは関連をもつが、実際使用するかどうかには、あまり大きな関連をもたないと推察された。

ただし、次回性交時のコンドーム使用意思と過去 3 ヶ月におけるコンドーム使用頻度の間にじゅうぶんな相関があり、今回測定した諸要因は、次回性交時のコンドーム使用意思を通じて間接的に影響を及ぼしていることも考え得る。

また、次回性交時のコンドーム使用にかんする意思の中でも、相手がコンドームを使用しようとしなかったときに自分からコンドーム使用を提案するかどうかは、情緒的支援および独立=依存行動特性の二つと関連をもつ可能性が示された。

情緒的支援を、個人をめぐる環境 (= パートナー関係) の認知、独立=依存行動特性を個人の環境からの影響の受けやすさと捉えると、コンドー

ム使用実践に関連する態度・行動のうち、環境的要因から比較的影響を受けやすいのは、相手がすすんでコンドーム使用をしなかった場合に、自分から、相手に勧める行動であることが示唆される。今後は、この点についての、なおいっそうの検討を進めていく予定である。

また、最近のコンドーム使用頻度が、今回の研究で検討した諸要因から影響を受けにくい理由について、今年度および来年度の若年男子を対象とした調査研究も踏まえ、今後、検討していきたい。

最後に、昨年度・今年度の調査研究より得られた情報から、女子を対象とした予防教育プログラムでは、

(ア) 「安全な性行動に例外をつくらない」という態度を形成する

(イ) 相手との関係性いかに関係なく、必要などきに、相手にコンドーム使用を提案する態度とスキルを育成する

等のことがらが、教育目標として優先順位がたかいたと思われる。

男女ともに、「相手意向」(男子)、「関係性」(女子)など、コンドーム使用についての自己決定が、パートナーとの間の関係や、相手の意向、相手とのやりとりに影響を受けることを示唆するカテゴリーを形成していたが、その内容は男女で異なっていた。男子では、「コンドームを用意しておくこと、相手に、下心があると思われそうで嫌だ」「コンドームを用意しておくことは、相手にプレッシャーを与えてしまうと思う」などが、特徴的であった。また、女子でみられた、「愛し合っているのだから(愛情)」「信頼する相手だから、相手をつい信じて(信頼)」「コンドームをしないほうが一体感が強い(一体感)」などの記述・言及は、男子には見られなかった。

F. 結論

コンドーム使用行動は「相手のある保健行動」のひとつである。その実行可能性には、その時々々のパートナーとの関係性がなんらかのかたちでかわっているものと考えられる。

本研究は、若年者女子におけるコンドーム使用行動を、パートナーとの関係性要因との関連において検討することを目的とした。対象は関東圏の短大・大学生女子とし、無記名自記式質問紙をもちいて授業時間を利用した集合調査を実施した(n=340, 平均年齢 19.02±1.06, 性交経験率 58.2%)。その結果、性交経験者女子において、パートナーからの情緒的支援の認知、パートナー間の階層秩序性、自己価値感、独立=依存行動特性は、過去のコンドーム使用頻度との間に、関連性が少ないことが推察された。一方、次回性交時にコンドーム使用を相手に依頼するかどうかについては、情緒的支援の認知および独立=依存行動特性が影響する可能性が示唆された。

男子調査の内容分析の結果を昨年度実施した同年代女子の同様のデータと比較したところ、その内容に相違があった。

男子にみられて女子にみられなかったカテゴリーとして、「コンドーム・イメージ」「性の健康についての関心」があった。女子にみられたが、男子にはみられなかった記述・言及は、「愛情」「信頼」「一体感」などであった。

【参考・引用文献】

- 藤崎宏子（1998）：高齢者・家族・社会的ネットワーク，培風館.
- ヘンドリック&ヘンドリック（1998）：恋愛・性・結婚の人間関係学，川島書店.
- 宗像恒次（1996）：最新行動科学から見た健康と病気，メヂカルフレンド社.
- 宗像恒次他（1987）：日米青少年の家庭環境と精神健康に関する比較研究，昭和62年度厚生省科学研究報告書.
- 大坊郁夫・奥田秀宇編（1996）：親密な対人関係の科学，誠信書房.